



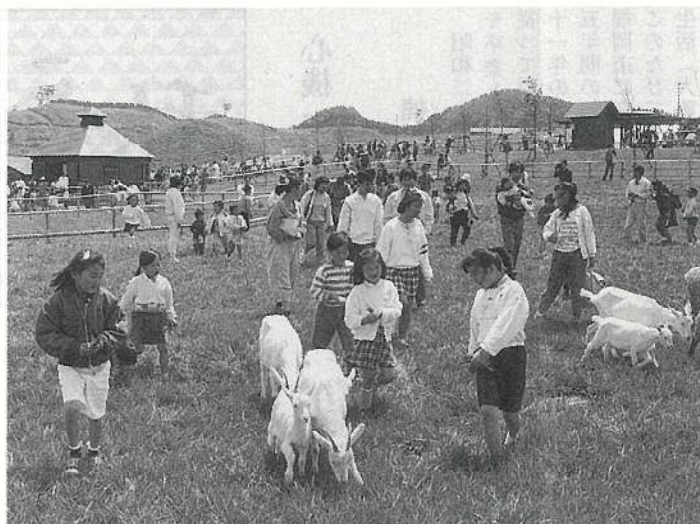
むつごろ



北山ダム(S32、3完成)
湖畔荘上空より虹の橋
21世紀県民の森を望む

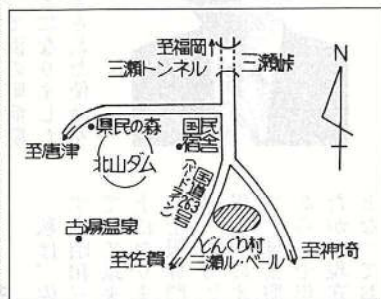
16

1988.6



緑いっぱい的大自然の中で、やぎなど動物たちとのふれあい

どんぐり村 営業
時間午前九時—午後
五時(七—九月は午
後六時まで)入場料
は大人八百円、中・
高校生六百円、子供
四百円。駐車場は千
五百台収容。



リースケート場などの施設がある。
子供たちの人气的な「小動物ふれあい広場」。アヒルやウサギ、牛、羊などに草を与えたり、追いかけてたりと歓声が絶えない。芝生の上にはいたるところで家族連れが弁当を広げ、さわやかな風を浴びながらのんびりムード。ローリースケート場でも子供たちが夢中にかけて回っている。

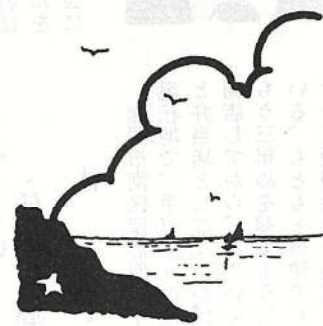
ある。羽衣は、立席で七百人を収容できる。宴会の規模に合わせて四室までに分割でき、畳敷きにもなる。
二階は結婚式場、写真室と婚礼控室や小宴会場として使える和室六室がある。一階屋上は百二十人収容のバーベキューテラス。一階二千百十六平方メートル、二階六百五十一平方メートル。総工費十億円。
唐津市と友好都市の中国・揚州市から調理師を迎える月波楼の中国料理部門は、オープンが少し遅れる。



二階 結婚式場



一階 レストラン「月波楼」

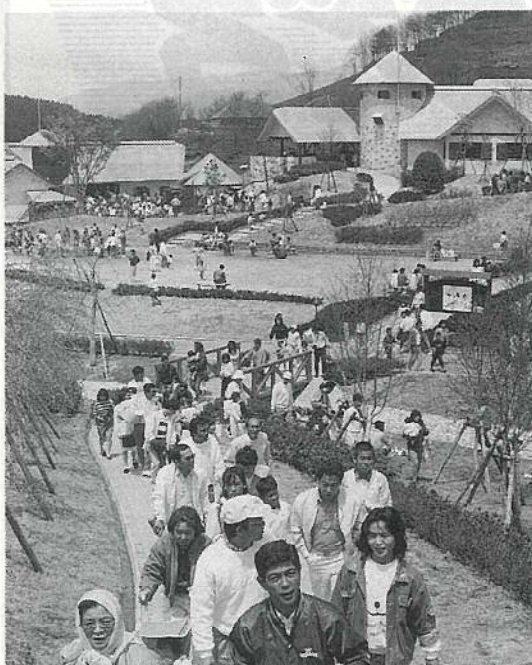


山

のびのび観光牧場

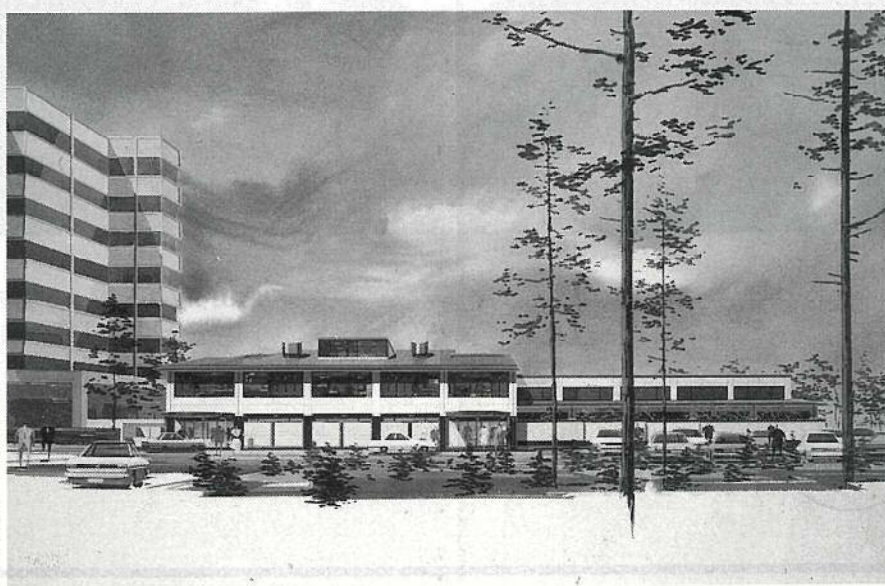
三瀬ルパール牧場・どんぐり村オープン

三瀬村に、観光牧場『三瀬ルパール牧場・どんぐり村』がオープンした。大自然と南フランス風建物のしやれた景観。子供たちが動物たちとふれあったり、家族連れが芝生の上で弁当を開んだり。自然あふれる、のびのび牧場は予想を上回る人出でにぎわいを見せている。



大宴会場『羽衣』完成 レストラン『月波楼』完成 唐津・シーサイドホテル

レストラン、結婚式場を集めた。鉄筋コンクリート一部二階建て。一階は和・洋・中のレ



唐津シーサイドホテル(唐津市東唐津四丁目、金子宜嗣社長)の新宴会場・レストラン棟が完成、四月二十九日から営業開始。これまでホテル内に分散していた宴会場、レ

このごろ 私は

心機一転、再出発

楠村 正治さん

昭和二十四年に鶴野小学校を卒業と同時に父の転勤に従って県外に出ましたが、三十一年の九大入学以来、途中五年間の他県転出を除いて、福岡市に在住しております。このたび二十八年間の公務員生活（大蔵省福岡財務支局）を終え、縁あって浜の町病院に勤務することになりました。心機一転、与えられた使命を



全うしたいと思えます。これまでの自分の生き方を振り返ってみると、自分はやはり佐賀人だなという事に思い当ることが多いようです。昨年の夏まで二年間、島根県松江市で勤務していましたが、各方面の方々から佐賀県出身ということで見方を待たれたためと考えております。よろしくお願い致します。

浜の町病院事務部長、
（武雄市出身）

メンズ・プラザ・ユガ

をよろしく

古賀 勲さん

私は、佐賀市川副町出身です。昭和三十年より福岡に出て来て以来、今年で三十年以上になります。三年前に舶来紳士服専門の「メンズ・プラザ・ユガ」を、南区若久の、現在地にオープンしております。紳士服業界も昭和三十年から四十年迄が好景気であったが、現在はむずかしい時代となっております。佐賀県人

の皆様で当店のお近くにおでかけの折はお立ち寄り下さい。私は仕事以外では、福岡博多祇園ライオンズクラブでの活動と地域の少年ソフトボール、少女ドッジボールの監督を引



き受けて、子供とのふれあいを通じて地域の人達との交流につとめております。

南区ソフトボール協会が昭和五十年に発足以来、副会長、会長職として、ソフトボールの指導・育成に努めております。（メンズ・プラザ・ユガ、身）

佐賀市出身



十日会に入会して

片淵 二昭さん

昨年節走に博多の筑紫寮で地区の町内会長の忘年会の折り洗面所で、東光町の久保歯科の久保院長とばったり会い、「先生も忘年会ですか」「十日会たい、そう言や、あんたも佐賀もんじゃったな、ちよっと紹介すつけんおれの席に来い」という事で、同行したら佐賀ん者の集り佐賀県人会堅粕支部の面々。

顔見知りの中山政一さんや今は亡き綾部さんなど十名ばかり、支部長の原社長さんを紹介され、「あんたも十日会に入会を許す」との全員の快諾を得て、伝統ある十日会の会員に加えて頂きました。



小生、昭和三十四年に杵島

郡有明町から福岡市竹下に移住し、四十二年に現在の東比恵に営業所を移転して以来、二十年当所に住んでおり、地域やPTAの役などをさせられ、公私共多忙で走り廻っております。

出身

「わかば」
手づくりの

・仕出し・弁当

林 功さん

福岡市南区屋形原二丁目の現在地で、手づくりの仕出しと弁当店として「わかば」を開店してから、はやいものでもう三年めを迎えようとしている。もともと唐津でレストランと設備会社を経営しておりましたが、親しい友人から現在の店をどうしても引きついでくれとたのまれ、子供達にも手がからなくなったのを機会に、九州で一番大きな

都市の福岡で暮らそうと店を引き受けました。最初は福岡の地理にまいったくといふ、一軒のお客様の配達に片道一時間かかるのもめずらしくなく、福岡とはこんな処かと唐津と福岡の商圏の違いと距離感覚の違いにとまどいました。今では、ようやく慣れて南区の屋形原を中心に配達効率を考えたお客の新規開拓につと



め、現在、国立病院、公民館の行事に伴う仕出しと弁当・学校関係と地域に密着した販売を展開しております。ようやく福岡にも慣れました。佐賀県人会の人達との交流もこれから楽しみに致しております。何か、ご用命がございましたら、お気軽にご連絡下さい。

（「わかば」代表、唐津市出身）

何れとも八分目で

野田りん子さん



福岡に住みついて二十数年、今では、伊万里よりも永くなりました。母が二十年前父が十年前に亡くなり伊万里へ帰る回数もだんだんと少なくなつて参りました。現在天神ビル（岩田屋デパート前）の地下一階に珈琲店麻里邑を経営しています。店の名前も伊万里にちなんでつけました。アルコールを珈琲に変えた喫茶店経営も早や十一年経ちました。

伊万里出身の方々にも気軽に立ち寄ってもらっています。若い頃は完璧主義を通したいが、十五年前の大病をきっかけに何れとも八分目にと心

掛け随分気が楽になりました。朝は五時半起きて娘の弁当作りをしたり多忙な毎日ですがこれが若さと健康を保つ秘訣ではないかと思うこの頃です。

伊

頑張っています

神野 亮三さん

鏡山の山頂より眼下を眺望すれば、そこに広がる虹の松原の絶景は、故郷をしのぶ私の心の絵画であります。その松原の東方に生れ故郷の浜崎がある。



昭和十八年唐津商業の校庭から甲飛として、三重海軍航空隊。鈴鹿海軍航空隊。そして敗戦。

同志社経専。九大経済学部を昭和二十七年卒業。現在福岡中央青果市場で仲卸神野青

佐賀もん同志の

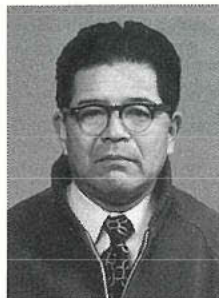
触れ合いを

大石 重雄さん

昭和九年熊本鉄道校卒、世は恐慌と不景気のどん底、昭和七年二六事件。満州独立宣言。という世相。

青雲の志でハルビン鉄道聯隊志願入隊昭和十三年。昭和十四年十六年満鉄（牡丹江）勤務から朝鮮鉄道金山局転属転属中終戦で金立へ帰郷。昭和二十一年現在地で叔父不在地主の山野、農地の開墾耕作に従事、傍ら昭和二十四二十六年進駐軍勤務、後福岡航空で停年退職。後農地不動産の管理で現在に至る。趣味は日本の史跡探訪、我

流の俳句、三味線（夫婦で）。回顧録の収録で半ばを過ぎた。



さて県人会歴は古く昭和二十八年頃中島徳松会長（炭坑師）の時代から堅粕の山口忠一理事、永倉三郎氏が九電総務部長当時など懐かしい。大陸の先輩で長住の元理事山口徳次さんは私が花畑支部長の時からのこと。永い間幹事長であった木下四郎氏の実績は多大で心に残るものである。古里は遠くにありても近き（福岡）にあつても夫々その郷愁は深い。五月十五日満鉄当時の永遠の僚友西川氏（脊振）が横浜から訪れ満洲の広野での方言のえにしの出逢いなど強烈な感動の思い出が甦りました。何故か、そんな佐賀もん同志の触れ合いが有難い県人会である。（佐賀市出身）

ふるさと会 同窓会

明
年
創
立
九
十
周
年
を
迎
え
る

鶴城同窓会

会 長 青 木 誠



佐賀県立唐津高等学校唐津鶴城同窓会福岡支部といえは随分長つたらしい呼称である。その鶴城同窓会は唐津中学校、唐津第一高等学校、唐津東高等学校の卒業生をもって組織する。

本校は昭和六十四年をもって創立九十周年を迎える由である。わが福岡支部も是等の各世代の人達で構成されている。

明治中期のことになるが、私の父は佐賀県尋常中学校唐津分校三年を修了して昔の佐賀中学校に入り四年、五年を過した。父の存命中は栄城同窓会誌が届けられていたこと

を覚えている。

私は唐津中学校の昭和七年卒業で自分では未だ若いと思っている。しかし何時の間にか福岡支部では最長老として祭り上げられてしまった。有難いような淋しいような気持ちである。

支部会長をお引受けしてから九年目である。支部総会に出席しておられた先輩の方々が次第に姿を消されて、結局現在では総会出席者の中で私は一番の年寄りになった。

同窓会になぜ出席するのか。別に理屈はない。ただ懐しいからである。毎年秋、同窓会支部総会開催の案内状を出す。約二十程度の方々が参集される。旧制中学校の卒業生と新制高等学校卒業生の比率は年々変化する。

いうまでもなく新制高等学校卒業生の数が年毎に多数となる。これは当たり前であり、またそうなくてはならぬのである。先輩だけの同窓会ではなく、若い自分達の同窓会にするという意欲がなければならぬと思う。旧い私達は喜んで席を譲りたいと考える。

同窓会支部総会のあり方については、特別に企画して有意義なものにすべしという意

見がある。それも結構であるが、実行にあたる幹事は心を砕き苦労する。

私は同窓会ではできるだけ多数の同窓生が集まって久闊を叙し、想い出話を花を咲かせ、歓談の数刻を過すことで十分だと考える。又、新しく先輩・後輩と知り合うこともある。それが自分の仕事や人生にプラスすることもあるだろう。それも結構である。私自身は格別にそうしたことを期待しない。

我々は唐津がふるさとである。六十年を経てもあのお城の下に校舎をめぐり四関の景観や環境は殆ど変わらない。そのかみの日々の通学と学校内の想い出がある。

唐津くんちの曳山囃子の笛や太鼓の音が蘇ってくる。その懐しさのゆえにこそ同窓会に出るのである。皆さんの中に同窓生がおられたら今年の秋の総会にぜひ御出席下さるようお待ちしております。



昭和商事石油株式会社

代表取締役社長 金子 宜嗣
代表取締役専務 高田 省三

本社／福岡市中央区大手門2丁目3番7号
TEL 092-714-3111



ふるさと会 三瀬村



三瀬村 庄島 明 村長

水と緑の資源を生かした村づくり

昭和六十一年七月、明治以来百年余り村民の悲願でありました三瀬トンネルが開通し、福岡百万都市との経済・文化の交流は活発化致しております。これを最大限に活用し、大自然と清らかな流れに恵まれた豊かな環境を生かし、観光施設の充実や地域の特産物を開発し、村民経済の向上を図らねばなりません。さらに昭和六十三年四月にオープンした『三瀬ルベール牧場どんぐり村』は県北部山間地域開発の第一号で、昨秋、渡仏して親善を図っておりましてクサック村と四月十九日にクサック村村長夫妻を迎えて姉妹村の調印式も無事終り、新しい感覚の観光地としての発展を期待しております。

緑豊かな大自然の三瀬村に

若者が定着し、生きがいのある村づくりを推進するとともに、佐賀市、福岡市等の都会の人々の心の故郷として澄んだ空気と美しい自然の村へ週末田舎人として御招待いたします。

このような考え方で佐賀北部をリードする庄島明村長は昨年四月の統一地方選で五期目の当選をされた郡内では最古参りリーダーで、若い頃より区長、議長を歴任され、経験豊かな実績で無限の人脈を持つ七十歳の元気な村長です。

佐賀県人会へ一言 北山ダムは国内でも有名ヘラブナ釣の名所です。今年八月七日にヘラブナ釣大会、八月八日には北山ダム湖水祭を計画しております。

皆様のおいでをお待ちしております。



三瀬村役場周辺

三瀬村は、佐賀県東部最北端脊振山系の南面に位置する農山村で、主峰金山をはじめとした鬼ノ鼻等、東西に走る連山が福岡県境となつています。

村内はおおむね三八〇m(五〇〇m)の起伏する山波で盆地的地勢を形成し、東西に七km(南北に八km、総面積四〇・七四km²)です。村の人口は、昭和六十三年四月一日現在で

三瀬村

一、八七四人で県下一の小規模自治体です。

村内を南北に縦断する国道二六三号(北山バードライン)を基幹として、大小の県村道が網状に連絡し、昭和六十一年七月には念願の三瀬トンネルも開通しました。

村の産業としては、農業林業が中心でしたが、最近では畜産業(養鶏)も増加しています。水稲面積は二四〇haで農家戸数三二二戸、水稲以外は、レタス、インゲン、トマト、ホウレン草の夏秋野菜栽培が盛んに行われています。

林業は、山林が村面積の七十六%を占め、ここ数年木材価格の低迷から経営意欲が低調でしたが、国、県の林業に対する施策を取り入れ、間伐材の有効利用を目的として、ログハウス等の建設又は木工加工事業等がなされつつあります。

観光面では、村の西端に人造湖北山ダムが昭和三十三年

に完成し、下流域の農業用水、上下水道用水として大きな役割を果たしています。また、ヘラブナ釣の名所としても全国的に有名で毎年八月八日は湖の安全と将来益々の発展を祈念して湖水祭を実施しています。

この周辺には二十一世紀へ向けて県民の森が年次計画で建設され、冒険トリム・キャンプ場・サイクリングロードは数多くの方が利用されています。また、今年四月にオープンした『三瀬ルベール牧場どんぐり村』は、新しい感覚の観光地として脚光を浴びています。その他には、観光と農業を結び付けた観光果園、リング園等も季節に応じオープンしています。

村の特産品としては、ヤマメ料理、地鶏料理の研究が進められていますが、その中でも『ヤマメの姿ずし』はお土産品として期待されています。最後に『緑と水の資源を生かした村づくり』を理念に天恵の自然環境を生かしながら、福岡市のベッドタウン、また生鮮食料品の供給地を目指し、親しみのある故里『もう一度生きたい』三瀬の村づくりを精進していききたいと思っております。

単純で平凡なものです、
「むつごろ」の編集部からの
指令です。経歴を書きます。
昭和十五年、佐賀郡久保泉
村小学校に入学しました。現
在は、佐賀市に編入されてい
ます。巨勢川の上流部が、脊
振山地から佐賀平野に注ぎ出
す扇状地の南端で、山地部と
平地部の中間的な性格のここ
ろです。三年前の冬、父の葬
儀の時、改めて我がふるさと
の景色や小川のせせらぎを静
かに眺め直しましたが、出席

略歴 昭和八年生まれ、昭和
三十三年建設省採用。北海道
開発局(札幌)、東北地方建設
局(仙台)勤務。昭和四十七
年、秋田工事事務所長。昭和
五十一年、本省大臣官房技術

旧制佐賀中学の最後のクラ
スに入学、六年後そこを卒業
した時は新制佐賀高校に名称



してくれた人達の多くからも
「君は良い所で育ったんだ
ね。」と、ほめられました。

福岡市助役 山本 茂樹氏

アジアの拠点都市づくり

アジア太平洋博へご支援を

私の履歴書

調査官。昭和五十四年、九州
地方建設局で福岡国道工事事
務所長、道路部長、企画部長
を経て、昭和五十九年、福岡
市助役(建設担当)。



南区大橋の博多どんたくで

雄君などがおります。彼は、
足は十分発達しております。野
球も上手なスポーツ万能選
手でした。
男生徒は、修学旅行もない
学校でしたので、とにかく二
十歳になるまでは九州を一回
も出る事がなく過ぎました。

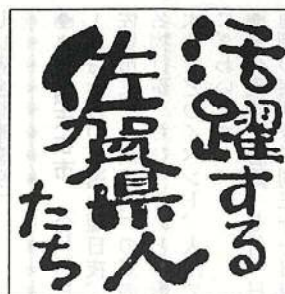
その後、本省で技術管理を
担当したあと、二十二年目に
して、突然初めての九州勤務
を命じられ、郷里の仕事にも
タッチできるようなりました。
以来、福岡に住みついで
おります。ここでは佐賀県人
の皆様には、公私両面で大変
お世話になっております。東
京一極集中とか、激しい都市
間競争と言われる昨今、福岡
市も危機感をもっています。二
十一世紀を展望した新基本構
想では、福岡市は活力ある「ア
ジアの拠点都市」になろうと決
意を新たにしたいところです。
その第一歩がアジア太平洋
博覧会の成功にあると考え、
現在、準備、PR、前売券の
発売に努力しております。国
内、国外から多くの参加が約
束され、きつと素晴らしい博
覧会になるものと思っております。
宜しくご支援をお願い
致します。

遠隔地に居た時、死んだ三
島由紀夫さんが書いた「葉隠
入門」を読み、全く抵抗なく
理解できました。そしてそれ
を今まで公私両面で活用させ
ていただけてきました。頑固
であるが純粋と言われる佐賀
ンモン。私もその一人になり
つつあるのかと思います。今
後とも、市民の皆様との協力
を得て、福岡の街づくりに努
力して参りたいと思っております。
宜しくお願ひします。

変更になっていました。汽車
にはたつたの七分間ですが、
家から駅まで一時間、駅から
学校まで三十分、毎日、合計
三時間は歩きました。足の強
度は十分鍛えることができました
が、その反面、足の長さは
摩耗で犠牲になりました。
汽車も、最初の頃は超々満
員で、小さい体を潜り込ませ
るのに種々の工夫をしました。
同じ駅から通学していた同級
生に、この四月佐賀地方区か

その反動のせいか、建設省に
入ると最初が北海道、次が東
北地方と雪国にじっくり定着
することになりました。秋田
と盛岡を結ぶ国道四六号の奥
羽山脈横断トンネル群の建設
など、思い出さずなる構造物が
多く残っております。広大な
平野を流れる大河川、九州の
人ともウマがあう朴訥な人情
に溶け込み、高度経済成長時
代の波にのり、殆んどゼロか
ら出発した雪国の社会資本、

昭和十二年伊万里市生まれ。
現在伊万里には叔母家族と、
親戚、友人が沢山います。が
却々帰る機会がありません。
十八年前から福岡市内で山
野愛子に関する事業(総合美
容学校、さきの講師養成、化
粧品の総卸元等)を行ってお
りました。三年前に米国商
務省とアメリカ大使館の主催
による「日米貿易経済懇談会」
に出席し、福岡領事館のご推



私と同郷、藤津郡塩田町出身
身で祖父の医業を継ぐ彼は
青年時代、身体をそこね、鹿
島出身の大先輩、勝屋院長の
下に今津赤十字病院に職を奉
じ、四十八年から院長になつ
た。往時、海辺のサナトリウ
ムとして全国に名を馳せた病
院も結核は減少する一方で経
営的に苦勞していた。
忍耐と努力の甲斐があつて、
県・市・財界等の理解と援助

株ジェイアールピー西日本
理事長 末石泰三さん
(伊万里町出身)



日本で最初のフィニッシング・スクールを開校

く運営出来るだろうか、生徒さ
んが来てくれるだろうかとい
心配でした。現在、在校生二百七
十名、卒業生六百名を数えます。
この学校は女性を内面的、
外面的の両面を平行して磨く

内容でマナー・社交性・身の
こなし・話し方・パーソナリ
ティ・ファッション・ヘア・
メイク・健康管理の八課目を
週一回七か月間勉強すること
で、トータル的に素敵な女性
を仕上げます。
十代から六十代までの幅広
い生徒さんで、鹿児島や宮崎
からも毎週みえています。
最近では企業や団体からの講
演、研修の依頼が多いことや、
卒業生を女子社員として採用
したいとの希望する企業が多
いのは、学校がいよいよ認め
られたことと思います。

今津赤十字病院
院長 鵜池 保之さん
(塩田町出身)



高齢化社会に対応…「痴呆専用病棟」完備

も加わり、今春、数十億を投
じ「老年病センター」として
時代の要請のもと高齢化社会
に対応すべく「痴呆専用病棟」
を持つ日本初の公的病院とし
て脚光を浴びることになった。

万葉に歌われる能古の島、白
砂青松の生の松原を指呼の間
に波静かな博多湾を隔てて福
岡の中心街を望見する絶好の
地である。
大学と提携して老年病、特

に痴呆学の確立と発展を目指
すと共に、ライオンズクラブ
会長など活躍し、地域社会と
の連携に意を注ぎ院内外の人
望も厚く、親しまれている。
日本は高齢化社会の到来が
急速であり二十一世紀には一
八五万人の痴呆患者が予想さ
れると聞くにつけ、ともあれ
この道を選んだ鵜池院長の活
躍を期待して今津を後にした。
(取材者 寺井辰雄記)



「自分史」のお手伝い!!

私の歩んだ道・随筆集・会社の記録

自費出版・編集から製本まで

有限会社

タナカ製本印刷所

工場/伊万里市新天町国見台東 TEL0955-23-5214代



新会員ご紹介

(敬称略)氏名、連絡先(電話番号、職業、出身地の順)

樋口 淳司

はう株式

会社▽富士町

大草 芳哉

▽佐賀県米穀販売協同組合▽相知町

峰 隆志

日本旅客鉄道(株)▽唐津市

渡辺 裕

▽三井鉱山(株)

▽富士町

栗山 政彦

▽住金システム開発(株)▽有明町

脇山 悟

▽(株)佐電工▽浜玉町

林 功

▽仕出し弁当

わかば▽唐津市

松園卯佐美

▽リサイクルセンター▽鎮西町

藤武富美子

▽EBインターナショナルジャパン▽鹿島市

諸岡 昭善

▽佐賀市

山田三佐男

佐賀市

楠村 正治

▽厳木町

院▽武雄市

陣内 孝雄

▽浜の町病

▽参議院議員▽

神埼町



ひと動き 会合

参院佐賀補選 四月十日

陣内孝雄氏が当選

三池信参議院議員の死去に伴う参院佐賀選挙区補欠選挙は四月十日投票、即日開票の結果、自民党公認で前建設省河川局長の陣内孝雄氏(西)

も二万七千票台にとどまった。注目の投票率は保守陣営の危機感を背景に前回補選(六十年八月)を大きく上回り、五三・〇八%。当日有権者数は六十三万四千二百八十人。

陣内氏の略歴

神埼郡神埼町姉川生まれ。旧制佐中、佐高、京大大学院(修士)工学研究科修了。建設省に入り、関東地建、近畿地建、河川局河川計画課長と歩み、六十年から九州地方建設局長、河川局長を務め今年一月退職。現在、日本河川協会顧問など。



喜久子氏(三)は女性の地位向上、農畜産物の輸入自由化反対などを訴えて健闘したが、ブームを起こすまでにはいかなかった。共産党公認の党泉委員会書記長、平林正勝氏(四)

編集デスク

風薫る五月、この好季節に「むつごろ」十六号の編集を完了しました。

今回は特に、どんぐり村、シーサイドホテル、参院選など写真及び記事の提供について佐賀新聞社にご協力いただき心からお礼申し上げます。

「佐賀県だより」は見開き二頁、毎号佐賀新聞社の提供によるものです。重ねてお礼申し上げます。

なお「このごろ私は」ほか会員の皆さんの投稿も号を追うごとに増えはじめました。皆さんの会報として、ぜひどし投稿をお待ちいたしております。(T)

会報むつごろ

昭和63年 6月18日 発行
福岡市佐賀県人会
(発行責任者 溝上 嘉幸)
福岡市中央区天神4丁目1-6
昭和セントラルビル内(〒810)
☎ 092-761-8253
制作 (有)タナカ製本印刷所
☎ 0955-23-5214